



ほっとたいは

まほろばってどういう意味??

先日、朝会の時に、「まほろば」のお話をしました。

「まほろば」とは、「万葉集」や「古事記」の中に出てくる日本の古語です。漢字で書くと「真秀ろば」と書き、「丘や緑が広がって、実り豊かな住みよいところ」＝「すばらしい場所」という意味があります。子どもたちにとっての「まほろば」が八幡小学校になるように、通級指導教室は、どの子も「学校が楽しい!」「学校はすてきなところだ」と思って通えるように、子どもたちの苦手な部分を克服するサポートをしていく場所なので、すべての子どもにとっての「まほろば」で在りたいと改めて思っています。

マルトリートメントという言葉を考える

「マルトリートメント」という言葉は、国際社会では、広い意味での子どもへの不適切な関わり全てを意味します。マル (mal=悪い) + トリートメント (treatment=扱い) で、マルトリートメントです。「不適切な養育」や「避けたい関わり方」などの意味で使われます。

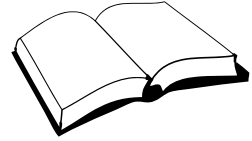
マルトリートメントは、日本において「児童虐待の防止等に関する法律」で規定された虐待（身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4つ）よりも広く捉えられている概念です。たとえば、日常的な拒否、愛情をかけられないこと、関心を向けられないこと、能力を超えた過度な期待、しつけの一貫として語られるような強い高圧的な指導、夫婦間の暴言・暴力を目にさせることなどが含まれます。

世界保健機構（WHO）は、「18歳未満の子どもに起こるあらゆる種類の身体的・心理的・性的虐待とネグレクト、商業的またはその他の搾取を行うこと、さらに責任、信頼または権力の関係の文脈において、子どもの心身の健康・発達・対人関係などに害をもたらすこと」を「チャイルド・マルトリートメント」と定義づけています。

チャイルド・マルトリートメントは、家庭の問題だけを捉えるのではなく、大人と子どもがいる場全てで起き得ることを示唆しています。

マルトリートメントとは、子どもと関わるすべての大人が知っておくべき概念ですね。

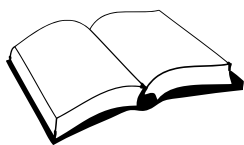
おすすめの本をご紹介します



子育てや教育に関する書籍は山のようにありますが、いったいどれがいいの？と、迷ってしまいますね。通級担当者が感銘を受けた本や発達についての理解を深めた本をいくつかご紹介します。子育てで悩んだとき、教育の在り方で悩んだときに、そっと勇気づけてくれたり、背中を押してくれたりした書籍です。

紹介できるのはほんの一部ですが、興味がある本については、よかったら貸し出しもします。気軽にお声がけください。

- 奥田健次の出張カウンセリング 奥田健次（スペクトラム出版社）
- 子育てのほんとうの原理原則 奥田健次（TAC）
- 「ぼくお母さんの子どもでよかった」 岩井俊憲 坂本洲子（PHP）
- 夜回り先生 こころの授業 水谷修（日本評論社）
- こどもたちへ 夜回り先生からのメッセージ 水谷修（SANCTUARY BOOKS）
- いのちの授業 がんと闘った大瀬校長の六年間 神奈川新聞報道部（新潮社）
- 子どもたちの光るこえ 香葉村真由美（センジュ出版）
- 子どもが輝く「魔法の掃除」 平田治（三五館）
- 水からの伝言 江藤 勝（ヒカルランド）
- 心からのごめんさない 品川裕香（中央法規）
- 子ども虐待という第四の発達障害 杉山登志郎（学研）
- 子どもが伸びる関わりことば26 湯汲英史（すずき出版）
- あたし研究 自閉症スペクトラム～小道モコの場合 小道モコ（クリエイツかもがわ）
- 教室「安全教室」計画（マルトリートメント）
- トラウマ返し 小野修著（黎明書）
- あした死ぬかもよ？ ひすいこたろう（DISCOVER）
- 「そ・わ・か」の法則 小林正観（サンマーク出版）
- 「き・く・あ」の実践 小林静観（サンマーク出版）
- 先生が明日からできること 金子晴恵（杉並けやき出版）



『読書は、自分の頭ではなく他人の頭で考えるのと同じである。』

アルトゥル・ショーペンハウアー

『書物の新しいページを1ページ、1ページ読むごとに、私はより豊かに、より強く、より高くなっていく。』

アントン・チャーホフ